

## UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	基盤看護学特論I			担当教員	清水 かおり
jgygn096	科目名 (英)	基盤看護学特論I			E-mail	kaoris@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	前学期	1~2人	看研6 (清水)	月曜日・木曜日6限	
1. 授業の概要						
看護教育の歴史と制度、ならびに看護教育における基礎理論、方法論を修得する。看護基礎教育・卒後教育・継続教育の前提となる看護教育学の理論に加え、関連学問領域の理論・主要概念を学習する。看護職における継続教育の現状と課題、キャリア開発支援について理解を深め、看護職への教育のあり方についてディスカッションやプレゼンテーションを通して探求する。						
2. 到達目標						
1) 「看護教育学」の内容を踏まえ、看護学教員、院内教育、認定看護師・専門看護師等の役割を担う看護職者が教育的機能を果たすための基盤となる知識を修得する。 2) 看護教育学の全体構造および看護教育学各論を学習し、看護教員、院内教育、認定看護師・専門看護師等の教育的な役割を担う看護職者が、教育活動を展開するために必要な基本的知識を修得する。 3) 今日の看護教育の現状を分析・考察し、問題点や課題について検討し、課題解決のための方略を探究する。						
3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性						
本授業の到達目標は、看護学科のDPと密接に関連している。 科目の到達目標を達成することで、以下のDPを身につけることができる。 DP1.科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力 DP2.地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力 DP3.地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力 DP4.グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力						
4. 授業計画と内容						
第1回 コースガイダンス 第2回 看護教育学創造への道① 第3回 看護教育学創造への道② 第4回 看護教育制度論① 第5回 看護教育制度論② 第6回 看護学教育課程論① 第7回 看護学教育課程論② 第8回 看護学教育組織運営論① 第9回 看護学教育組織運営論② 第10回 看護学教育授業展開論① 第11回 看護学教育授業展開論② 第12回 看護学教育評価論① 第13回 看護学教育評価論② 第14回 看護継続教育論① 第15回 看護継続教育論②・まとめ						
5. テキスト・参考文献						
テキスト：杉森みどり・舟島なおみ (2016) 「看護教育学」第6版 医学書院 グレッグ美鈴、池西悦子編集 (2018) 「看護教育学 看護を学ぶ自分と向き合う」改訂第2版 南江堂。 参考文献：必要に応じて、文献や国内外の最新の学術論文等の資料を配布する。						
6. 準備学習						
授業は、主体的に学習する姿勢・態度が求められる。プレゼンテーションは、事前に課題を探求し、理解した内容を他者に伝わるように工夫して資料を作成し、発表すること。討議では、プレゼンテーションの内容を踏まえ、内容の理解を深めるとともに、建設的な意見を発表し、積極的に討議すること。						
7. 成績評価の方法						
・事前の資料準備と授業への参画度 20点 ・プレゼンテーション内容 40点 ・期末テスト 40点 ・合計 100点満点						
8. 履修の条件						
看護教育学を履修していること						
9. その他						
授業資料は、Microsoft Teams (ファイル) にアップロードするので事前に確認し、必要であれば各自ダウンロードをしてください。課題レポートは、Google classroom、Google foamを活用して提出を課します。また、シラバスはクラスの状態、講義の進行状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。令和5年度は「原則として対面での実施」となりますが、感染対策が理由である場合、遠隔授業への出席を認めます。遠隔授業はzoomミーティングシステムを使用します。						

## UNIVERSAL PASSPORT RX

授業コード	科目名	基盤看護学特論II			担当教員	清水 かおり
jgygn103	科目名 (英)	基盤看護学特論II			E-mail	kaoris@meio-u.ac.jp
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	時間割
2単位	学年指定なし	後学期	1～2	看研 6 (清水)	月曜日・金曜日6限	

## 1. 授業の概要

教育学および看護教育学の理論を適用した看護基礎・卒後教育課程、あるいは継続教育プログラムの編成・運用の実際と看護学教育活動の展開を学修する。看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくりなど、効果的な継続教育を実施していくための知識や理論・技術を学修する。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、看護基礎教育において到達すべき看護実践能力、継続教育におけるキャリア開発について探求する。  
※令和4年度は「原則として対面での実施」となりますが、感染対策が理由である場合、遠隔授業への出席を認めます。遠隔授業はzoomミーティングシステムを使用します。

## 2. 到達目標

1. 看護基礎・卒後教育カリキュラム、あるいは看護継続教育プログラム編成の実際を体験し、教育プログラムの立案・実施・評価に必要な基本的知識を修得する。
2. 授業展開のための基礎知識（授業を支える理論、授業展開に必要な基礎知識）を活用して模擬授業を展開し、看護職者の能力向上を目指す教授活動について論述する。
3. 看護基礎・卒後教育カリキュラム、あるいは看護継続教育における教育活動の展開、および教育カリキュラムあるいは教育プログラムの編成・運用の方法を説明する。

## 3. ディプロマ・ポリシー (DP) との関連性

本授業の到達目標は、看護学科のDPと密接に関連している。  
科目の到達目標を達成することで、以下のDPを身につけることができる。  
DP1.科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力  
DP2.地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力  
DP3.地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力  
DP4.グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力

## 4. 授業計画と内容

A. 看護基礎教育カリキュラム編成の実際、もしくはB. 看護継続教育プログラム編成の実際のどちらかを選択肢を進める。

## A. 看護基礎教育カリキュラム編成の実際

- 第1～4週：方向付け段階の理解
- 第5週：プレゼンテーション1「方向付け段階」
- 第6～8週：方向付け段階の再検討と形成段階に向けた資料作成
- 第9～10週：形成段階の理解
- 第11週：プレゼンテーション2「形成段階」
- 第12～13週：実施段階の理解（教授、学習および情報資源）
- 第14週：プレゼンテーション3「模擬授業の展開」
- 第15週：まとめ

## B. 看護継続教育プログラム編成の実際

- 第1週：授業計画・内容ガイダンス
- 第2週：所属施設の現状把握に必要なデータを収集
- 第3週：所属施設看護部の継続教育の現状把握に必要なデータを収集・分析
- 第4週：所属施設の現状把握、看護部の継続教育の現状把握に必要なデータを収集・分析結果の成文化
- 第5週：現行の院内教育プログラムの分析
- 第6週：presentation1「現行の院内教育プログラムの分析結果」
- 第7～8週：学修への要望の高い看護職者集団の特定に必要な調査項目の検討（研修受講状況調査、教育ニーズアセスメント、学修ニーズアセスメント）
- 第9週：調査項目・調査foamの確認
- 第10～11週：診断が必要な看護職者集団のデータ収集
- 第12～13週：看護職集団のデータを分析・診断し、その結果を成文化
- 第14週：presentation2「集団の分析結果」
- 第15週：まとめ

## 5. テキスト・参考文献

舟島なをみ編集（2015）. 「院内教育プログラムの立案・実施・評価（第2版）－「日本型看護職者キャリア・ディベロップメント支援システム」の活用」医学書院.  
舟島なをみ監修（2020）. 「看護学教育における授業展開（第2版）－質の高い講義・演習・実習の実現に向けて－」, 医学書院.  
杉森みどり, 舟島なをみ（2016）. 「看護教育学 第6版」医学書院.

## 6. 準備学習

毎回、関連文献を精読し、その理解に基づきグループ討議を行う。  
また、必要に応じて授業外時間を活用し、グループ討議を展開しながら計画的に学習を進める。

## 7. 成績評価の方法

活動状況70点（評価視点：授業へのコミットメント、問題発見および解決への努力、プレゼンテーションの適切さ）  
レポートの内容30点（評価視点：テーマとの整合性、論理的な文章構成、言語表現の適切さ、文献活用の適切さ）  
合 計 100点満点

## 8. 履修の条件

基盤看護学特論Ⅰを履修済みであること

## 9. その他

講義に関する連絡や、授業資料、課題の提出はMicrosoft Teamsにて掲示します。講義資料や事前課題は事前に確認し、必要であれば各自ダウンロードをしてください。  
課題レポートは、Google classroom、Google foamを活用して提出を課します。  
また、シラバスはクラスの状況、講義の進行状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。